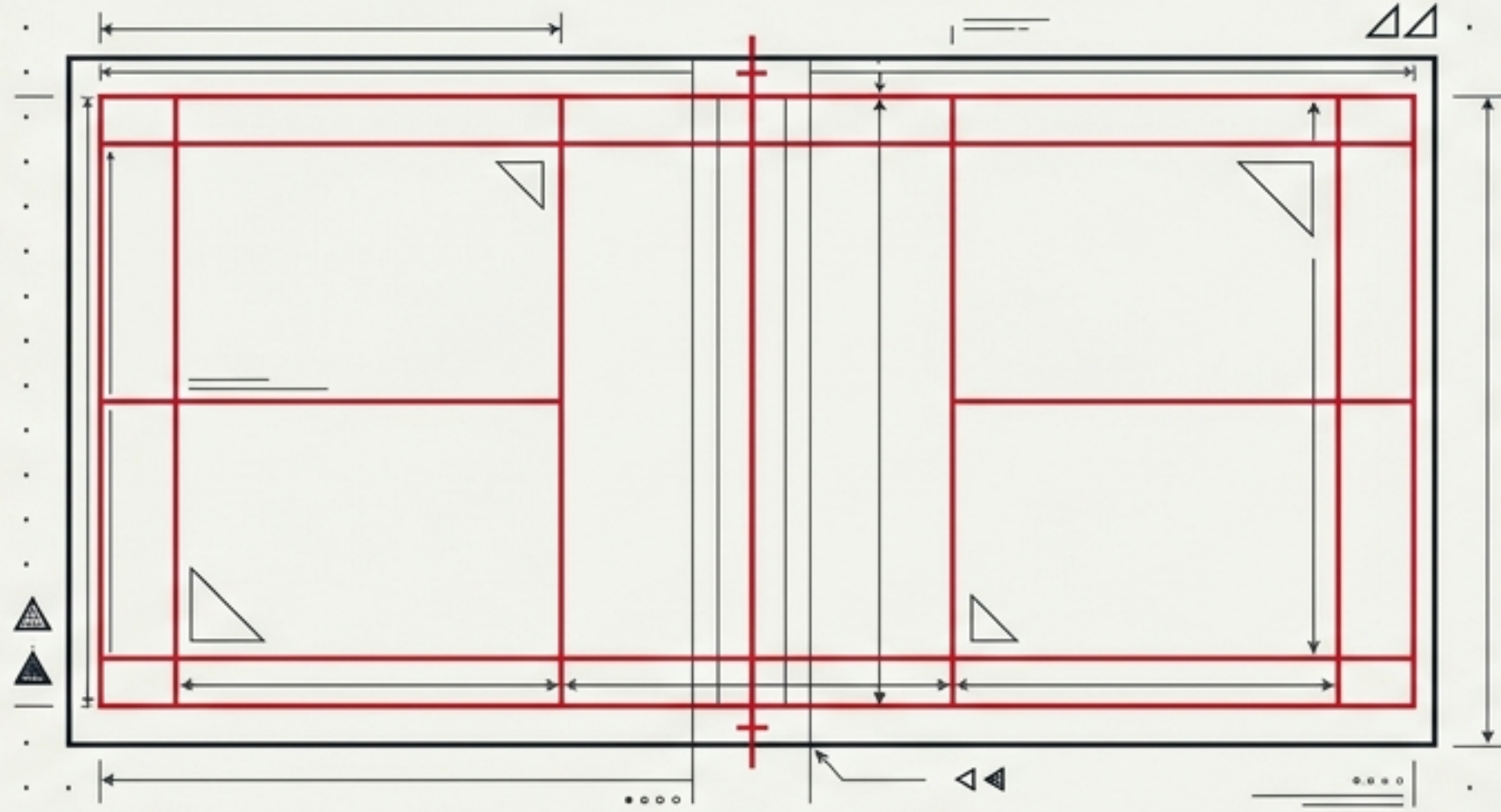


▶ オンライン教室本編を見る



# シャトルを追うな、人間を見よ。

## 自責のマインドと『三角形の心理戦』

# デジタル共有の罠と、真の「マインドの厚み」

デクノボ(指示待ち・他人事)

目的もなく10個もの動画リンクを送りつける。  
「見てもらえて当然」という無意識の甘え。



必死に声を張り上げるパートナーの横で、そ知らぬ顔をするな。  
技術はすぐには上がらないが、感情を同期させ、  
共に怒鳴り声を上げることは「今すぐ」できる。

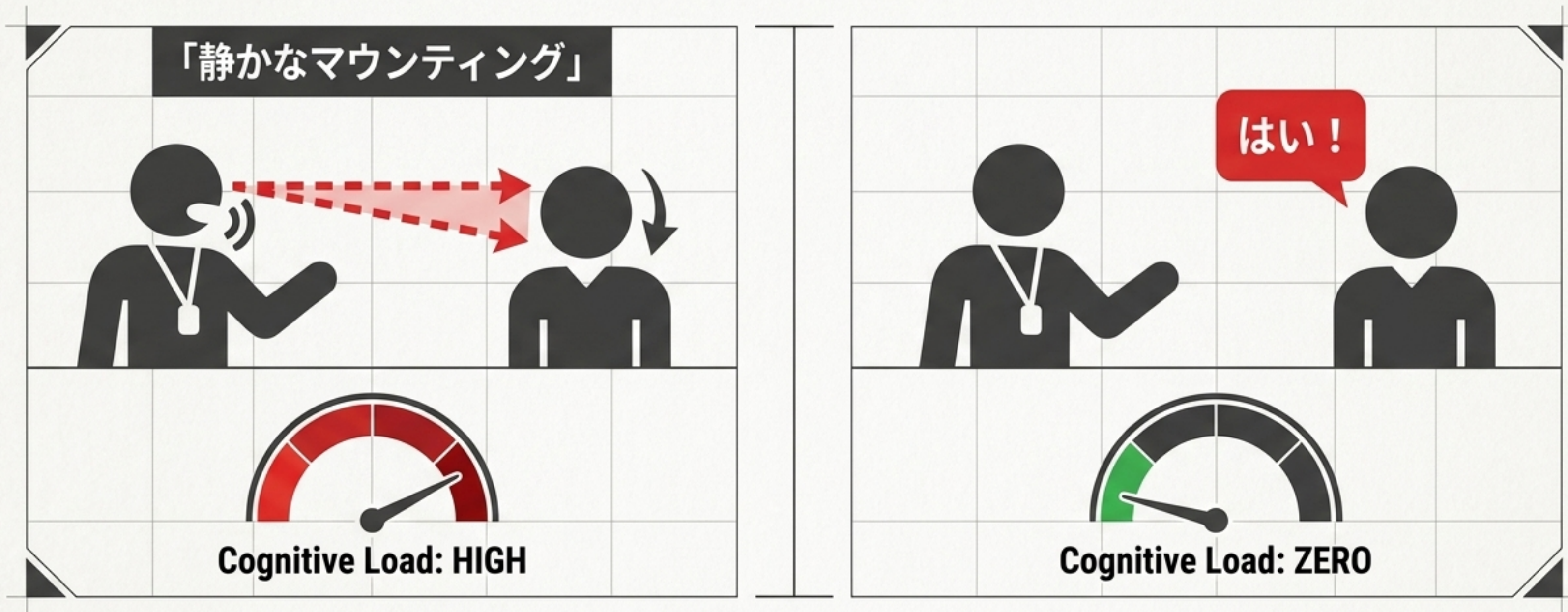
▶ 意識改革の全貌を動画で見る

# チームを壊す「他責」vs 導く「自責」

▶ コーチの厳しい指摘を動画で確認

【他責 (依存と甘え)】	【自責 (主体的な貢献)】
トイレの紙切れに気づき、管理人に「紙がありません」と文句を言う	誰に言われるでもなく、自らトイレットペーパーを持参し仕込んでおく (なおこさんの姿勢)
「アドバイスをください」とだけ添えて、無作為に動画を送りつける	明確な目的とコンテキスト、そして敬意を持って共有する
パートナーが孤軍奮闘している横で、涼しい顔をして傍観する	共に闘志を剥き出しにし、同じ熱量で戦場に立つ

## 「頷き」に潜む傲慢さ：コミュニケーションコストの法則



- 勝てない最大の謎は、対人競技なのに「人間研究」を怠ること。
- 質問に対して首を縦に振るだけの「頷き」は、相手に自分の顔を確認させる無駄なコストを強いる。
- 視線を集めて相手を支配しようとする、無意識の「マウンティング」に気づけ。

▶ 人間心理の解説を動画で見る

# 変革を拒む心理を打破する 「ノーリスクの覚悟」

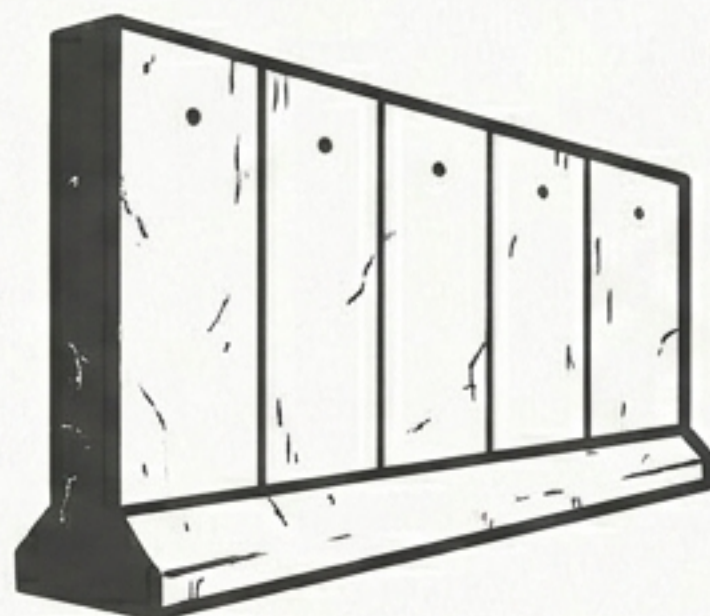
▶ ノーリスクの挑戦について動画で学ぶ

Phase 1



都市の変革（大阪都構想は1%差で否決）。  
リスク：生活基盤の破綻。

Phase 2



現状維持の傲慢さ

Phase 3



バドミントンの変革。  
リスク：完全なるゼロ。

都市の構造を変えるには、生活が破綻する巨大なリスクが伴う。  
しかし、バドミントンにおいて「右足前を崩すこと」「フォア待ちをやめること」にリスクなど一切ない。  
今のゴミのようなレベルに満足し、自分を変えるハードルを勝手に上げるな。

▶ 戦術解剖パートを動画で見る

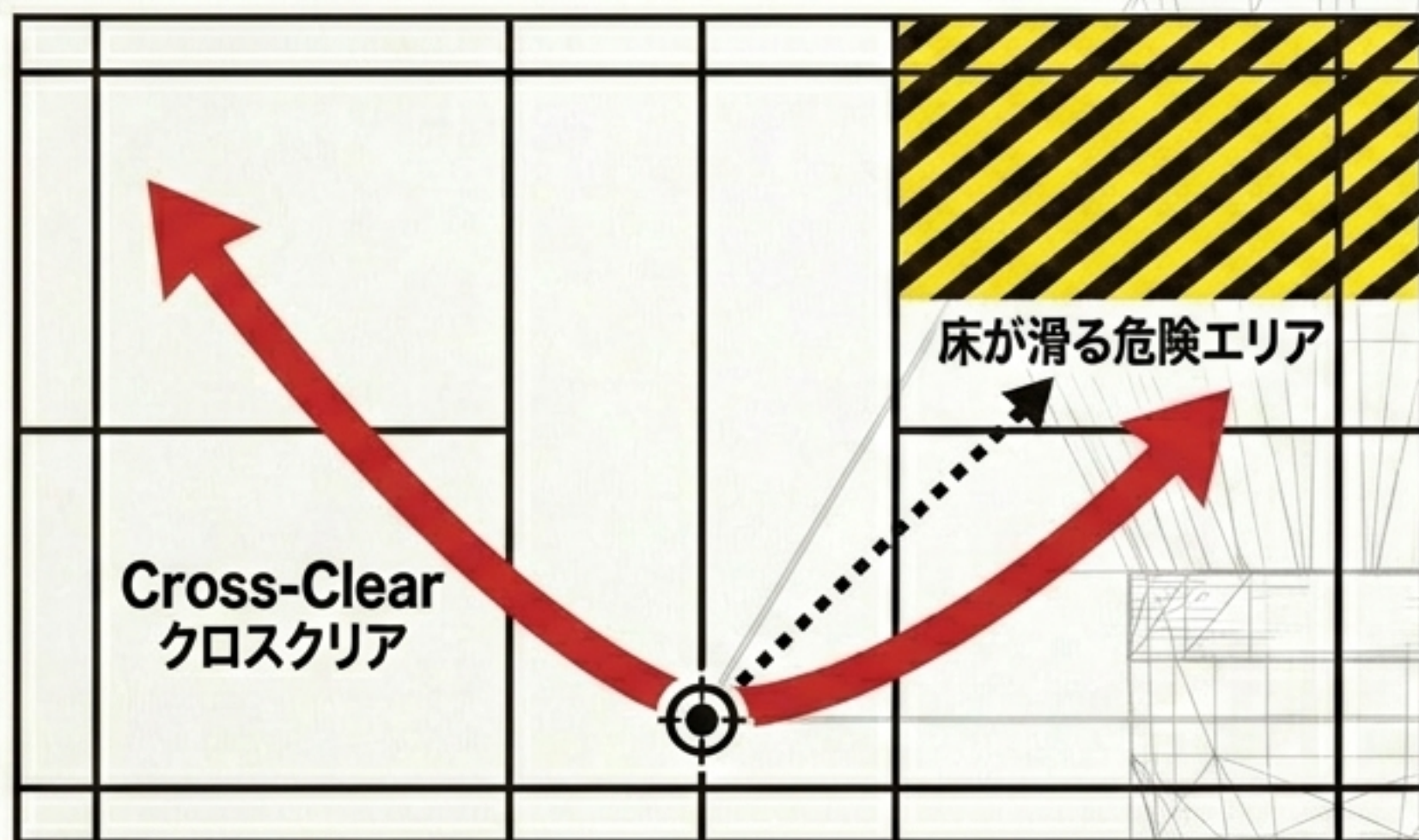
# 限界を超えるための戦術解剖

世界の最高峰とフェニックスの実践から学ぶ「3つのケーススタディ」

# Case 1: 究極のリスク (プサルラ vs 山口)

## 1ゲーム目 17-16 の極限状態

▶ プサルラ選手の『崇高なリスク』シーンを見る



山口選手が足を滑らせた直後。ストレートに打てば決まる場面で、プサルラ選手はあえて強引なクロスクリアを選択し失点した。

1点をもぎ取るよりも、対戦相手を危険なエリアへ走らせない「安全」を最優先した。限界まで突き詰めた者同士にしか分からない、崇高な心理戦。

## Case 2: 感情の爆発と「大の字」の罠

▶ 脳機能低下の決定的瞬間を動画で検証

脳機能爆下がり



大の字ポーズ

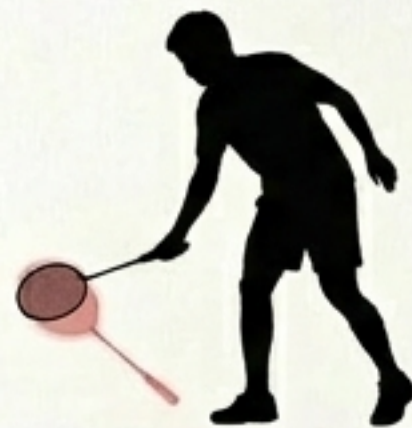
① 大の字ポーズ



主審のダブルタッチの  
誤審ダラダラ交渉

② 長引く抗議と混乱

16:16



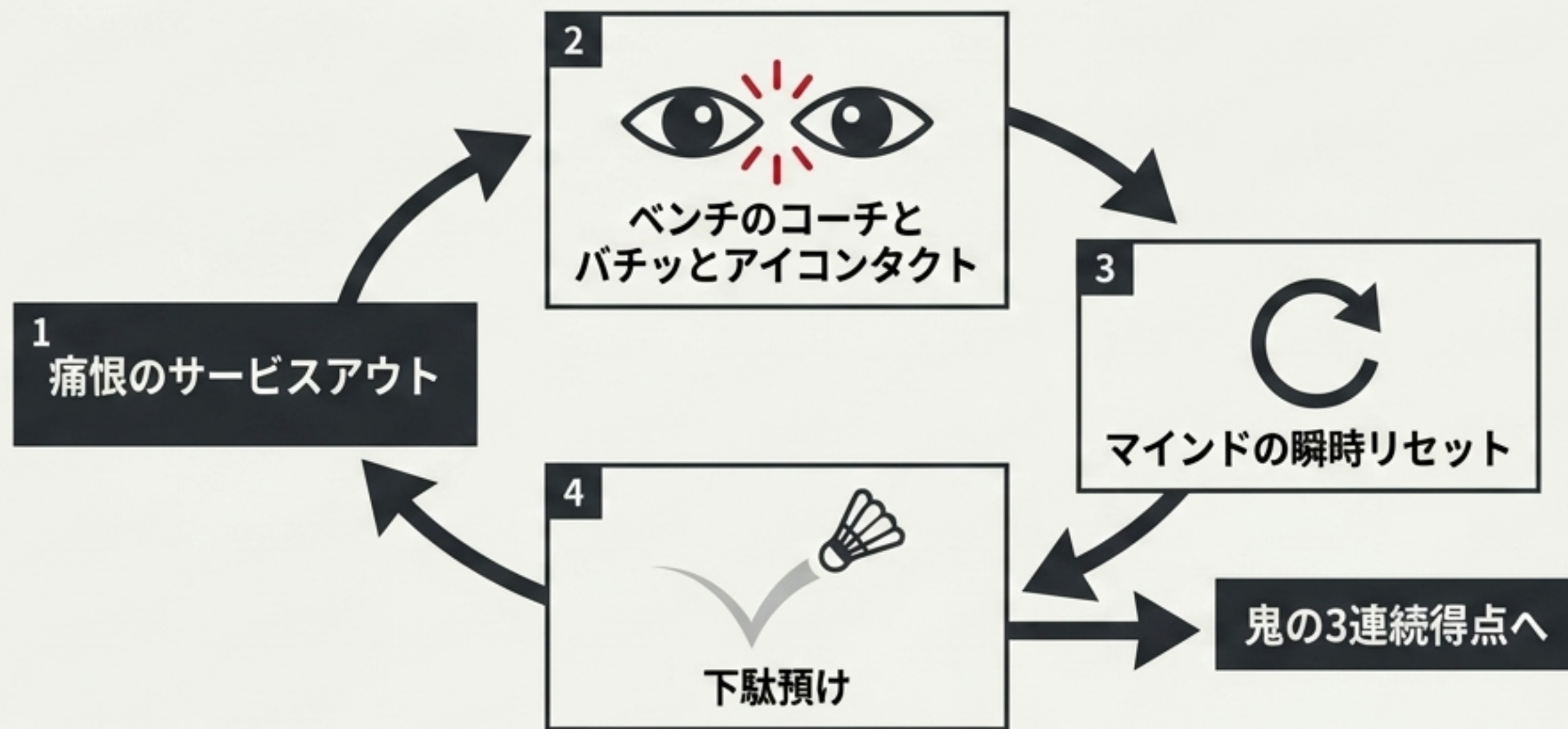
単純ボンミス連発で自滅

③ 敗北へのプロセス

マッチポイント(16-15)でのラリー後、勝利を確信してコートで大の字(X)になった神山選手。この「風呂上がり」のような状態が脳機能を劇的に低下させる。直後の相手の猛抗議と主審の誤審によるやり直し判定に対し、脳が停止した状態では対応できず、単純なボンミスを連発して自滅した。

## Case 3: 絶大な信頼と「下駄預け」の極意

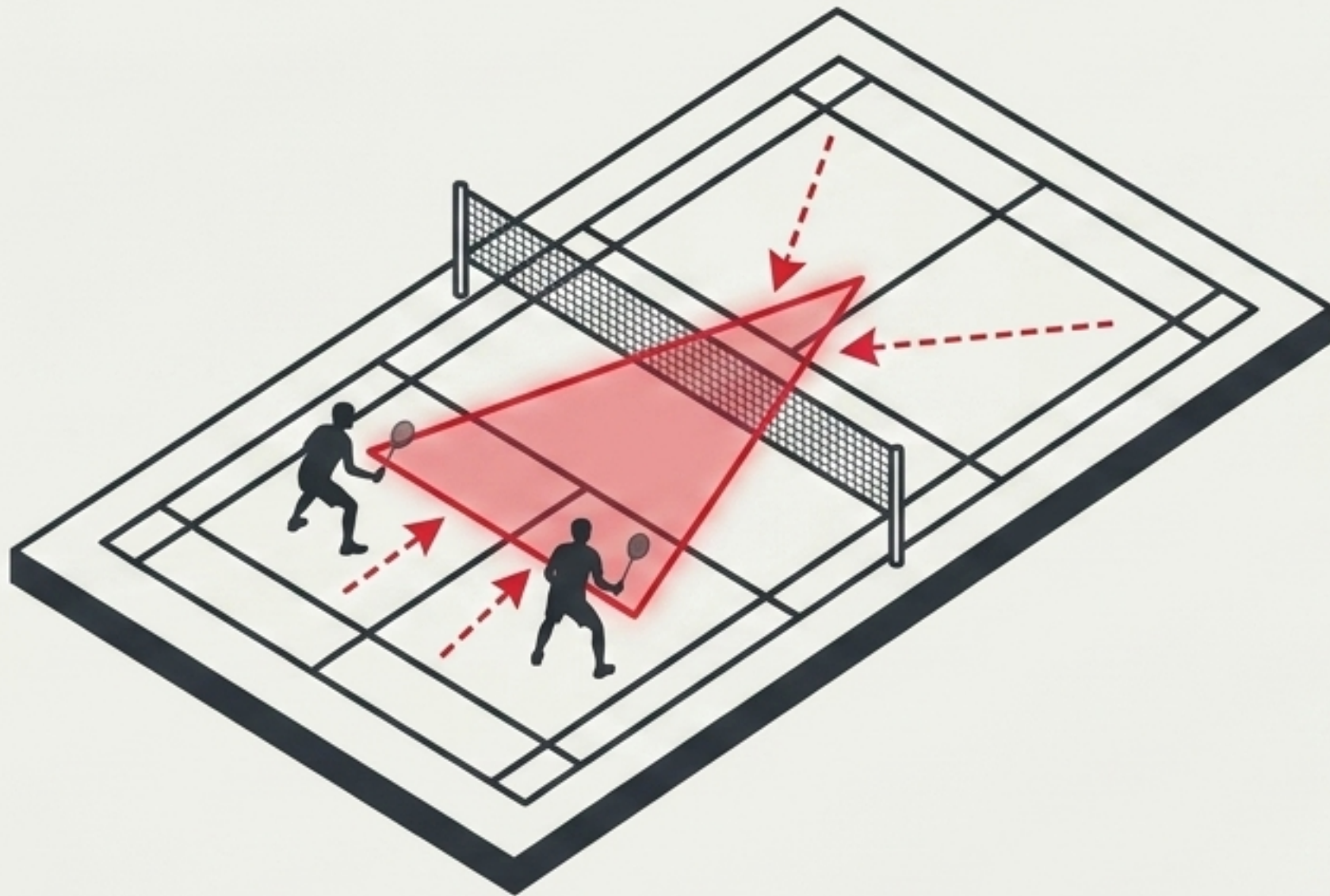
▶ バンバ選手の『鬼の3連続得点』を見る



バンバ選手の凄みは、手痛いミス直後、深い信頼関係にあるコーチと目を合わせ、笑顔でマインドを平穩にリセットしたことだ。威圧的な指導者からは目を逸らすのが武器になる。不利な体勢では無理に狙わず、ふんわりとした「下駄預け」で相手の自滅を誘う老獪さ。

# 究極のダブルス戦術：『三角形』の心理戦

▶ 『三角形の心理戦』の実践解説を見る



- ダブルスの鉄則は「頑張りすぎないこと」。腕を固め、コンパクトな面作りでネットミス徹底排除する。
- 相手の打点が下がった瞬間、ストレートはないと見切り、0.1秒早くクロスを予測して前へ詰める。
- コート上に形成される「三角形」のエリアを極限まで小さく絞り込み、狭い戦場で相手をハメ殺す緻密なローテーション。

# アウトプット習慣チェックリスト：あなたの「マインドの厚み」



動画を共有する際、「見てもらって当然」という他責を捨て、明確な目的と敬意を添えているか？



備品の不備に気づいた際、文句を言うだけでなく、自ら進んでトイレットペーパーを仕込む自責行動を取れるか？



パートナーが声を張り上げて戦っているとき、他人事のように傍観せず、マインドを同期させて共に叫んでいるか？

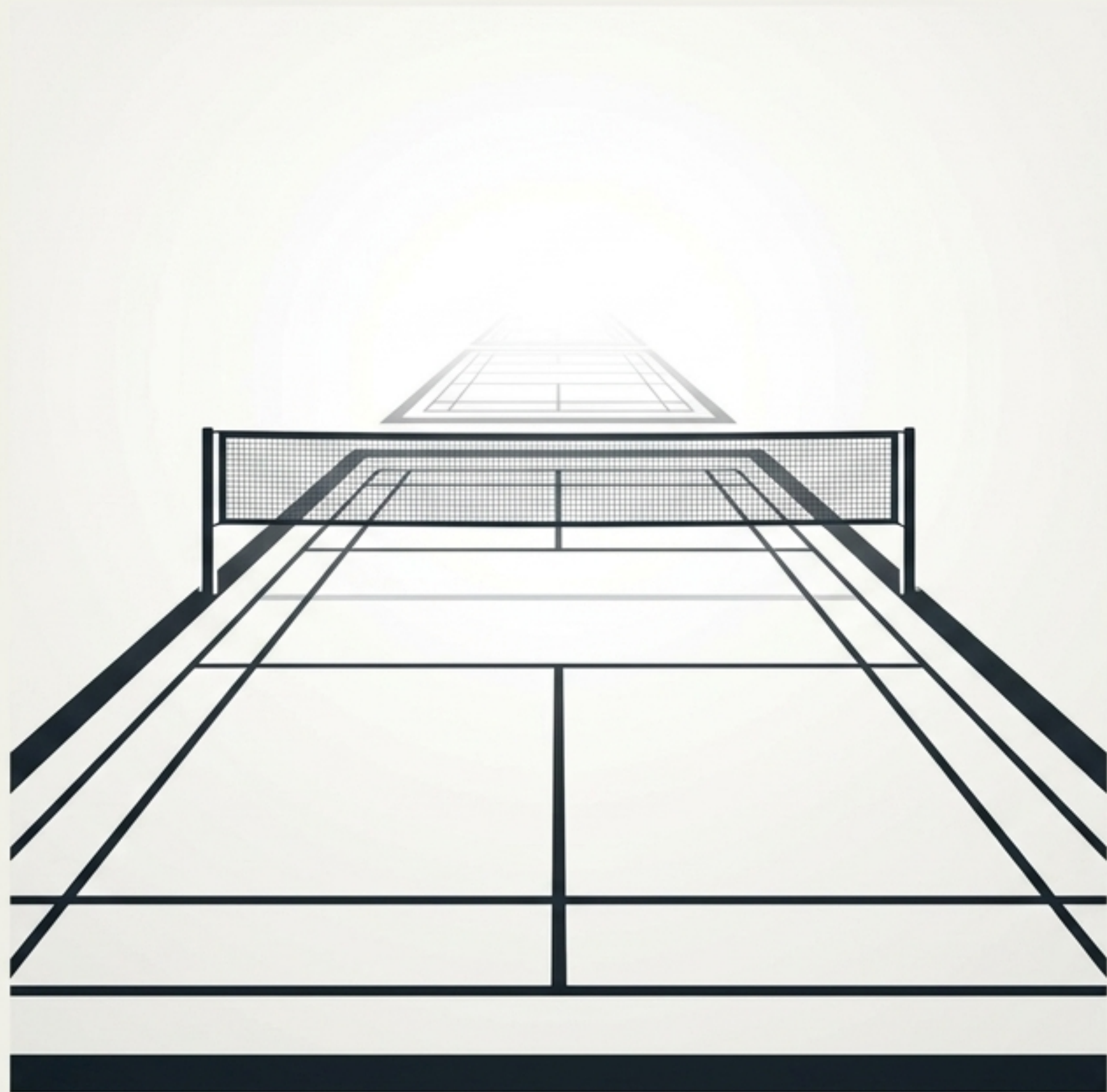


「頷きマウンティング」を厳に慎み、「はい」と声を出して答えているか？



ミスをした瞬間に「大の字」にならず、即座にパートナーと目を合わせてマインドを整えているか？

▶ [今すぐマインドを変える（動画へ）](#)



## コートは人生の縮図である

「シャトルを追うな、人間を見よ。」  
インプットの甘えを今すぐ捨て去れ。自らトイレットペーパーを仕込む自責のマインド、仲間を孤独にさせない闘志の同期、相手を心理的に制圧する三角形の構築。これらは対人競技における最高の戦略であると同時に、社会を生き抜くための最強の武器である。言い訳を破壊し、今すぐ自分を変えろ。

# マインドの厚みは、今すぐ変えられる。



▶ 2026年6月14日 オンライン教室の全編動画を見る